

## 学校教育目標

幼児、児童、生徒の「個に合った自立と社会参加」の姿を目指し、「個別最適な学び」を実践するとともに、学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養うことをもって「生きる力」を育成する。

### 目指す幼児児童生徒像（一人一人の「できる！」を増やす）

- 見つめる。（自分を理解する。）
- 伝える。（自分の意思や考えを伝える。）
- 参加する。（人や物に関わり主体的に参加する。）

## 令和6年度学校教育経営方針

学校経営の中・長期を見据え、人材育成を核とするチーム力の強化と、各障がい種における専門性の向上及び新しい学校課題への全職員によるチャレンジ。

### 1 信頼される指導・支援の充実

- (1) 専門性の維持・継承するために、各種研修会への積極的な参加や専門性向上の研修の充実を図り中核的教員を育成する。
- (2) 中堅・若手教員を課長等に抜擢し、学校運営に積極的に参画させる。
- (3) 特別支援学校のセンター的機能の強化を図る。
- (4) キャリア発達に必要な情報提供、キャリアパスポートの活用、産業現場実習等の充実を図る。
- (5) 進路先となる事業等の開拓と福祉機関等との関係強化を図る。
- (6) 幼児児童生徒の実態に応じたワンヘルス教育の実践を推進する。

### 2 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実

- (1) 教育課程・日常の授業のPDCAを実践し、「各教科の内容」の精選・ステップ化・価値の再確認を行うことにより、カリキュラム・マネジメントの充実を実践する。
- (2) 少人数指導をいかした個別最適な学びと集団による学びを推進し、豊かに「生きる」を実践する。
- (3) SOCIETY5.0を想定したGIGAスクール構想、デジタル教科書の利用、分身ロボットの活用等、全職員による積極的なICT活用を推進する。
- (4) 職員の連携やPTA活動の充実を図る。

### 3 安全・安心な教育環境の充実

- (1) 初期対応の重要性を全職員で共有し、事件、事故、災害等の被害拡大を防ぐ。
- (2) 防災訓練や緊急時対応シミュレーション等により、防災意識や緊急異常時対応能力を向上させる。
- (3) 全職員による医療的ケアに関する理解と感染症対策を含む保健・安全指導の充実に努める。
- (4) 安定した給食等の提供を行い、食育についての指導を行う。
- (5) 柳川療育センターや大牟田病院との連携・協力体制を整える。

### 4 働き方改革への大胆なチャレンジ

- (1) 超過勤務縮減に向けて、毎月20日を超過勤務確認デーとして働き方について職員の自己管理意識を醸成する。
- (2) 定時退校日や学校閉庁日の徹底や、週休日の行事实施日における振替休日を活用するなど、職員がまとまった休日を取得しやすい環境をつくる。
- (3) 看護職員や支援員、スクールカウンセラーなどの専門職を積極的に活用する。
- (4) 毎月25日を「不祥事ZERO YANATOKUデー」として定期的な啓発を行い、職員の不祥事防止を徹底する。